



様式第1-2号 (第3条第2項関係)

埼玉県エコアップ認証事業所

更新認証申請書

平成 27年 7月 16日

(あて先)
埼玉県知事

申請者 株式会社 田中工業
〒350-0321
埼玉県比企郡鳩山町大字赤沼 447
代表取締役 田中歳光
049-296-2191



埼玉県エコアップ認証制度実施要綱第3条第2項の規定により、埼玉県エコアップ認証事業所の認証について、次のとおり申請します。

1 事業活動の概要

ふりがな 事業所の名称	かぶしきがいしゃ たなかこうぎょう ほんしゃ 株式会社 田中工業 本社			
事業所の所在地	〒350-0321 埼玉県比企郡鳩山町大字赤沼 447			
事業の内容	土木構造物及び建築物の設計・施工			
日本標準産業 分類 (細分類)	名 称	一般土木建築工事業	番 号	0611
事業の規模	資本金 (万円)	9,900万円	主要製品	土木構造物 及び建築物
	従業員 人数 (人)	35人 ※H27年4月～	事業所の 敷地面積	2,100㎡
	()		(延床面積)	936.4㎡
地球温暖化対策 計画の提出状況	※提出した年度を記入する。 提出年度：平成 27年度 (直近の地球温暖化対策計画の写しを添付)			
認証の履歴	前回の認証日：平成 24年 10月 19日			
	前々回の認証日：平成 年 月 日			
他のマネジメント システムの認証 取得状況	■ ISO14001 □エコアクション21 □エコステージ □KES □EES □グリーン経営認証 ■その他 (・ISO9001 ・OHS18001) □なし			

2 環境方針

※（対外的に公表しているものがあれば、その写しを添付すること。）

<p>【環境方針の制定日：平成 21 年 7 月 1 日】 （改定されていれば改正日：平成 27 年 4 月 1 日） ※別紙添付</p>

3 環境負荷の現状

（1）環境保全の取組のチェック結果

（別添「環境保全に関する取組チェックシート」の集計）

項 目	廃棄物	大気・水質	化学物質	節水・水	製品開発
達成率	95%	100%	100%	80%	100%
項 目	建築・開発	グリーン購入	環境教育	その他	
達成率	94%	91%	78%	78%	

（取組に関する情報・説明）

<p><廃棄物の排出抑制、リサイクル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子化の推進による社内書類のペーパーレス化を図った。 ・ コピーの両面印刷化を極力図った。 ・ 不要なコピー紙（片面印刷）は、指定の箱で保管し再利用を図った。 ・ 事務所から発生した廃棄物は、社内に設置したエコステーションで保管し、分別後リサイクルを推進した。 ・ 各自より発生した生ゴミは、自宅へ持ち帰るように指導した。 <p><CO₂、大気環境汚染の抑制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エコ運転教育を実施し、エコドライブに対する意識向上と啓発を行った。 ・ エコドライブ 10 の進めを推進した。 ・ 年式の古い車両および燃費の悪い車両を今年度は、10 台入れ替えをした。 ・ 全従業員に毎日の走行及び点検記録を運転日誌に記録させた。 ・ 安全運転管理者の月次車両点検を実施した。 ・ 室内温度の管理（冷房時 28℃、暖房時 20℃）を推進した。 ・ 既存の古いエアコン 2 台をインバータエアコンに切り替えた。 ・ 照明器具もインバータ型照明器具に順次切り替えを実施した。 ・ 季節によるクールビズとウォームズを励行した。 ・ 夏場は南面に壁面緑化（グリーンカーテン）を設置した。 ・ 休憩時間及び不要時の照明は消灯した。 <p><節水・水の効率利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 節水の継続的教育と節水を徹底して、使用量の削減を図った。 ・ 蛇口の水圧及び吐出量を最小限に調節した。 ・ 雨水の樋と貯留タンクを連結して、雨水の利用を図った。 <p><グリーン調達の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再生資源を多く利用している「エコマーク」製品を優先した。 ・ 再生品を優先的に使用した。
--

<環境教育>

- ・ 年2回環境の取り組みについて環境教育を実施した。
- ・ 月次パトロールにて、環境への配慮、対応について指導した。

<その他>

- ・ 彩の国ロードサポートを年4回実施した。
- ・ 毎年「ふれあい市野川クリーンアップ作戦」に参加した。
- ・ 毎年「防災訓練」を実施している。
- ・ 環境への配慮に取り組んだ従業員及び公に表彰された従業員には、評価表彰制度を導入している。

(2) 環境への負荷のチェック結果

ア)「地球温暖化対策計画書」の別紙3号より

項 目		23年度	24年度	25年度	26年度
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	22	22	21	21
原単位 (従業員数当たり)	t-CO ₂ /人	0.7586	0.7586	0.7241	0.7241

イ) 自動車燃料 (別添「自動車燃料チェックシート」より転記)

項 目		23年度	24年度	25年度	26年度
自動車燃料CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	66.2	65.1	63.4	63.2

合計

項 目		23年度	24年度	25年度	26年度
CO ₂ 総排出量	t-CO ₂ /年	88.2	87.1	84.4	84.2
原単位 (従業員数当たり)	t-CO ₂ /人	3.0414	3.0034	2.9103	2.9034

(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の過去3年間の目標と実績の比較

3年前の申請時の目標

年度	目 標 排出量 (t-CO ₂)	基準値 (t-CO ₂)	増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)	目 標 原単位 (従業員数当 り) (t-co2/人)	基準値 (従業員数当 り) (t-co2/人)	増減量 (従業員数当 り) (t-co2/人)	増減率 (%)
24年度	87.0	90.7	△3.7	△4.1	3.0000	3.2503	△0.2503	△7.7
25年度	85.0		△5.7	△6.3	2.9310		△0.3193	△9.8
26年度	83.0		△7.7	△8.5	2.8621		△0.3882	△11.9
平均 増減率				△6.3				△9.8

過去3年間の実績（認証以降の排出量・原単位実績）

年度	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	基準値比 増減量 (t-CO ₂)	基準値比 増減率 (%)	CO ₂ 原単位（従業員数当たり） (t-CO ₂ /人)	基準値比 増減量 (従業員数当たり) (t-co ₂ /人)	基準値比 増減率 (%)
基準値	90.7			3.2503		
24年度	87.1	△ 3.6	△ 4.0	3.0034	△0.2469	△7.6
25年度	84.4	△ 6.3	△ 6.9	2.9103	△0.3400	△10.5
26年度	84.2	△ 6.5	△ 7.2	2.9034	△0.3469	△10.7
平均増減率			△ 6.0			△9.6

(4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明

(3年前の排出量目標の達成状況に関すること)

【目標の達成・未達成の結果】

平成24年時での26年度排出量目標は83.0t-CO₂に対し、実績値は、84.2t-CO₂であった。従業員数当たりの原単位では、目標値2.8621t-CO₂/人に対し、実績値は、2.9034t-CO₂/人であった。

未達成の理由としては、生産高（工事高）の向上による、自然増と考えられる。

ただし生産高は前年比の1.3倍に対して、二酸化炭素排出原単位量は、1.014倍であった。

これは、CO₂削減に向けた社内教育により各従業員の意識向上、自動車の入れ替えや省エネ商材の導入などによる成果の表れとして考えられる。

(5) その他環境に重大な影響を与える項目の実績及びその情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

□ 廃棄物排出量

以下のとおり、減少している。

前年度比では、14.3%減少した。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
廃棄物処分量 (t)	0.29	0.26	0.07	0.06
原単位 (従業員当たり)	0.0100 t/人	0.0090 t/人	0.0024 t/人	0.0021 t/人

(6) 二酸化炭素削減対策等の取組状況

別添・「二酸化炭素削減対策等チェックシート」のとおり（追加対策に関するコメント）

□ エコステーションの設置

不要な紙類及び廃棄物は、搬出まで敷地内に設置した「エコステーション」で一時保管し、分別化を行うことで搬出における二酸化炭素削減に努めている。

4 環境への負荷低減の目標

(1) 二酸化炭素の削減目標 (基準値：24～26年度3カ年平均※85.2 t-CO₂)

年度	目標 排出量 (t-CO ₂)	基準値 (t-CO ₂)	増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)	目標 原単位 (従業員数当 たり) (t-co2/人)	基準値 (従業員数当 たり) (t-co2/ 人)	増減量 (従業員数当 たり) (t-co2/人)	増減 率 (%)
27年	83.5	85.2	△1.7	△2.0	2.8802	2.9390	△0.0588	△2.0
28年	81.8		△3.4	△4.0	2.8226		△0.1164	△4.0
29年	80.1		△5.1	△6.0	2.7627		△0.1763	△6.0
平均 増減率				△4.0				△4.0

(2) 二酸化炭素排出量等の削減目標に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

- 平成24～26年度の原単位平均(2.9390t-CO₂/人)を基準として、平成29年度末までの3年間で原単位率を6%削減の目標を設定する。
- 過去の取組により削減効果が今後も良い部分は継承しながら、新たな取り組みや従業員への周知徹底により、省エネ対策・CO₂削減に積極的に取り組む。

(3) その他環境に重大な影響を与える項目の目標及びその情報・説明

(廃棄物等に関すること)

- 廃棄物の発生抑制を図るとともに、平成27年度～29年度までの3年間を通じ、毎年の再資源化率95%以上を目標に取り組む。

5 目標達成に向けた具体的な取組

(1) 二酸化炭素削減の取組

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

<電気使用量削減>

- ・ 室内温度の管理(冷房時28℃、暖房時20℃)をする。
- ・ 季節によるクールビズとウォームズを励行する。
- ・ 夏場は南面に壁面緑化(グリーンカーテン)を設置する。
- ・ 休憩及び不要時の照明は消灯する。
- ・ 今後劣化する照明設備入れ替えを順次行う。

<ガス使用量削減>

- ・ 湯沸かし器は、4月～10月までは元栓を閉めて使用を控える。
- ・ 湯沸かし器は、能力切り換えを「小」の状態を使用する。
- ・ ガスコンロの使用は、必要時のみとする。

<自動車燃料等削減>

- ・ エコ運転教育を実施し、エコドライブに対する意識向上と啓発をする。
 - ・ エコ運転の取組で「エコドライブ 10 の進め」を実施する。
 - ・ 年式の古い車両および燃費の悪い車両の入れ替えを検討・実施する。
- ※工事系職員の車両では、初年度登録から 10 年が経過または走行距離が、20km に達した時期を目安に、初年度登録から 3 年～5 年程度であり、走行距離 7 万 Km 程度の中古車両に入れ替えしている。
- ・ 全従業員に毎日の走行及び点検記録を運転日誌に義務付け、運転の管理状況と併せて燃費意識を高める。
 - ・ 安全運転管理者の月次車両点検をする。

※その他、詳細な具体的な取組は、「エコアップ手順書」の省エネ手順による。

(2) その他環境に重大な影響を与える項目の取組

(廃棄物等に関すること)

<廃棄物の発生抑制、リサイクル>

- ・ コピーの両面印刷化を極力図る。
- ・ 不要なコピー紙（片面印刷）は、指定の箱で保管し再利用を図る。
- ・ 事務所から発生した廃棄物は、社内に設置したエコステーションで保管し、分別後リサイクルを推進する。
- ・ 各自より発生した生ゴミは、自宅へ持ち帰るように指導する。

※その他、詳細な具体的な取組は、「エコアップ手順書」の廃棄物手順による。

6 取組の実施体制

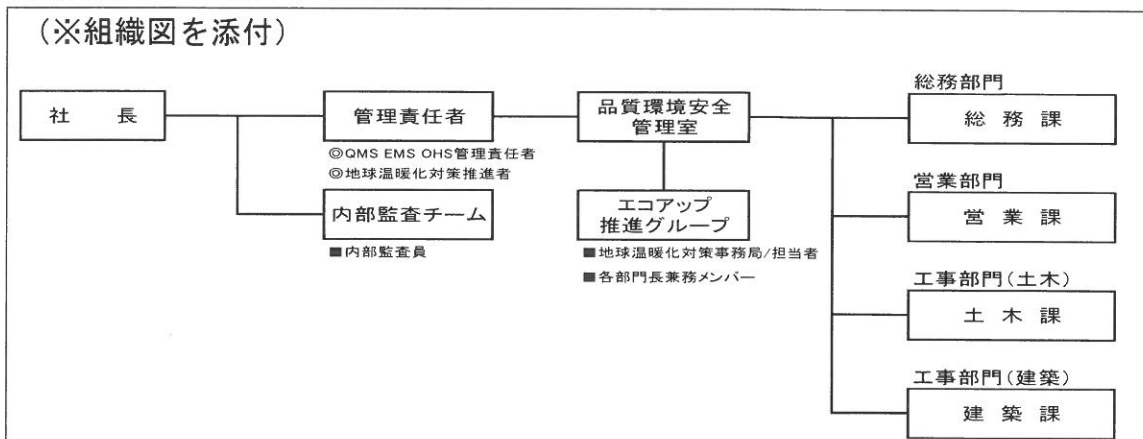
(1) 地球温暖化対策推進者の役職・氏名

役職	代表取締役	氏名	田中歳光
----	-------	----	------

(2) 担当組織名

品質環境安全管理室

(3) 各取組の分担や責任者の配置状況



7 取組の運用状況

・ 目標達成状況と取組実施状況の確認・点検概況

(内部環境監査の記録の写しを添付すること)

【内部環境監査日：平成 27 年 6 月 11～12 日】

- ①代表者が半期毎に目標を管理している。
- ②毎月の品質安全会議で、地球温暖化対策推進者を中心として、各責任者が目標達成と取り組み進捗状況を定期的に確認している。
- ③毎月の店社安全パトロールにて、取り組み状況の監視及び指導がされている。

以上確認による対応概況

- ・ 問題点の原因分析を行い、対応策を検討して改善に取り組んでいる。
- ・ 必要に応じて予防処置または是正処置を施している。
- ・ 再発防止の管理策に、リスクアセスメントを取り入れている。
- ・ 一連の実施状況及び確認、点検、対応策まで PDCA について内部監査を実施している。

8 評価・見直し

・ 代表者等による全体の取組の評価・見直し概況

(マネジメントレビューの記録の写しを添付すること)

【代表者の見直し日：平成 27 年 6 月 22 日】

- ・ 代表者による取り組みの評価・見直しのマネジメントレビューを平成 26 年度は 1 回実施した。
- ・ 内部監査の結果から、地球温暖化対策推進者が監督報告と併せて改善案を代表者に報告されている。
- ・ 見直しの結果、改善事項については品質安全環境会議において部門責任者を通じて全従業員に伝達を図られている。
- ・ 地球温暖化対策推進者の報告及び改善案から、代表者の全体の評価を行い、システムの見直し及び次年度の取り組み及び「目標」が展開される。
- ・ 毎年 7 月 1 日に新年度の「社長方針書」が配布され、方針、目標への具現化が図られている。

9 担当者・連絡先

担当者名	(所属) エコアップ推進グループ	(氏名) 田中 清喜
連絡先	(電話) 049-296-2191	(FAX) 049-296-4545 (電子メール) k-tanaka@tanaka-kougyo.com

関係書類について

項 目	添 付 書 類
1 エコアップ認証EMS	①地球温暖化対策計画作成報告書（写） ②地球温暖化対策計画・実施状況報告（写） ③環境保全に関する取組チェックシート ④自動車燃料に関するCO ₂ 排出量 （自動車燃料チェックシート） ⑤・廃棄物等排出量実績（自己排出分） ⑥・会社全体の組織図（工場・支社・ 支店・営業所等が確認できるもの） ⑦・事業所一覧（複数の事業所がある場合） ⑧・内部環境監査の記録（写） ⑨・マネジメントレビューの記録（写） ⑩・自動車の給油量、燃費管理表（任意） ⑪その他必要と認める書類
2 二酸化炭素削減対策等	①二酸化炭素削減対策等チェックシート ②その他必要と認める書類
3 欠格要件	①欠格要件申告書（別紙） ②その他必要と認める書類